

2. 有害環境対策における意見・要望

携帯やネットなどで若い世代の人たちが自由に情報を入手できる環境にあると思います。そうしたものが何故有害なのか、どのような危険があるのかについて、子どもたち自身が考え、学ぶことが大切だと思います。知る機会を増やしたり、自分が活躍できる場所を子どもたち自身が得ることができれば、有害な情報などからの被害も減少していくと思います。

(長崎県・20代・女性)

まずは大人が手本を示すべきであるが、大人がモラルを守れていない。大人が青少年を食い物にしている現状であるので、罰則を厳しくして欲しい。

(富山県・40代・男性)

「非行防止なのか、健全育成なのか」頻出のテーマである。実際に学校、地域で行われている活動はこのどちらかに属しているものが多く、「どちらも」見据えたものは少ないように思う。非行防止＝警察関係、健全育成＝学校、教育関係とした縦割りにとらわれない、この両テーマを内包している活動こそが重要であると思われる。

(岩手県・30代・男性)

私たち親や大人はただただ子どもたちが健やかに育って欲しいと望んでいます。そのためこのような問題が起これぬよう願いながら啓発活動をしています。こうした活動を行って行政の支援がまだまだ十分ではないように思います。

(群馬県・40代・女性)

インターネットなど、情報を得る手段が多様化している中、青少年の行動を制限することでの有害環境対策は難しい（例えば、店頭では買えない借りられないような本やDVDなどでもネットでやりとりできる。提供する側の関係団体や保護者など大人が問題意識をもって、大きなレベルで協力しあっていく必要があると思う。

(鹿児島県・30代・女性)

青少年が健全に育つ環境づくりは、大人の今日の、身勝手な行動が正しくなければ、青少年の有害環境は良くなれないと思います。

(岐阜県・60代・男性)

今日の青少年の有害環境がこれから10年、20年後にこうなるというシュミレーションをビジュアル化して発信していただくとより自分の事、今すぐ心がけなければならないと気持ちと行動力が変わると期待しています。

(山形県・50代・男性)

携帯電話も有害図書も全て営利主義の世の中で、大人にとって便利であるが青少年への環境浄化に向けて、行政も地域も一体となった取組を期待したい。特に、携帯電話に潜むネット社会の危険性を子どもは勿論大人達も知らない「危険サイト」である事を講演会・講習会を繰り返し開催するなど地道な活動を続けたい（出来れば、行政の予算化の援助を希望）。

（石川県・60代・男性）

悪い事は悪いとする環境づくりが必要に思います。子どもを躾られる親の教育、生徒を正しく指導できる学校の取組、地域の大人が誰の子どもも悪い事を見たら注意できる環境、この三者の取組が子どもを悪い事は悪いと認識し正しく行動できる子どもを育てると思いますし、この子ども達が大人になり又その子ども達を正しく導いてくれると思います。

（千葉県・60代・男性）

大人達の意識改革が必要。規範意識の低下を感じます。大人達をどのように教育していったらよいのか考えさせられます。青少年にとって有害な環境があったとしても青少年が善悪の判断が出来排除するように育てて欲しい。その為にはどこでどのような指導、導きが出来るとか一人の人間がどうする事も出来ず歯がゆいです。

（千葉県・60代・女性）

子ども達が生活する中で有害と思える事が多く、規制強化は必要であるが、それら有害な情報を選別する能力をつけさせる事も大事であると考えます。いくら子どもの内に規制強化しても大人になり社会にでると有害情報が大変多くそれらにふりまわされる事があるので周囲の大人が教える事が大事であると思う。

（北海道・50代・男性）

私たちはボランティアで活動しています。何の権限もありません。注意をするのも、危ない時代です。ただ、子どもたちの為に、事前に防止できるように日々、子どもたちと関わるようにしています。そのため、情報提供は子どもたちがしてくれます。もっと子どもたちと関わる環境があればと思います。根から悪い子はいないと思います。

（岐阜県・40代・男性）

情報の共有は大切だが、秘密厳守の難しさを感じている。関係者が同じように厳守できるようにしっかり確認しあうことも大切。

（島根県・50代・女性）

携帯電話等のスペックの見直し（例として高校生までは通話のみのタイプ）を国自体が推奨して希望者のみに貸し出す（通信料は自己負担）。これはメーカーと国が考えなければならない問題です！

（愛知県・40代・男性）

具体施策も大切に取組むべきだと思います。対処も急務でしょう。しかしながら、行政と国民（地域・学校・家庭・企業）が一体となった意識改革が急務なのではないかと考えます。大人の姿を見て子どもは育ちます。次代を任う青少年を真剣に見守る大人になりたいと考えています。

（福井県・60代・女性）

何が有害なのか？ 酒、たばこ、大麻など法律にふれることは有害であり、良くないものと思いますが、雑誌やテレビ、これをどう判断するか難しいものであり、表だけの判断しかできないと思っています。有害環境も認めるというか必要なものでもあると思うので、深い調査、また研究、対策が必要だと思います。

（鳥取県・40代・女性）

大人（保護者、業界の方々等々）が青少年の健全育成に関しての意識をしっかりと持ち、小さな実践から始めていくことが大切であると思う。挨拶、声かけ、気づいたら勇気をもって声かけをすることが大事であると平素からつくづく思っている。

（鹿児島県・60代・男性）

酒、タバコについてもなぜ青少年（未成年）がダメなのか。法律で決まっているからではなしに、成長時に大きな影響がある事をもっと学校などで理解させるべきであると思います。

（京都府・60代・男性）

青少年育成アドバイザーは青少年育成も市民会議の通信教育を2年間受け認定された組織です。市民会議がなくなった現在、それぞれの立場で青少年育成のために活動しておりますが、市民会議に変わる核となるべき機関の設置を強く望むものであります。

（鹿児島県・60代・女性）

「やってみせてやらせてみて、誉めてやらねば人は育たぬ」の教えの元、様々な活動を実践させていただいています。環境改善や指導、取締り強化の必要性は認めながらも、地域の大人として、横道にそれず当たり前に青少年でいる子ども達を「そのままが良いんだよ」と支援して行く姿勢が本当は大事ではないかと感じてなりません。

（宮城県・50代・女性）

青少年が社会から受ける有害な刺激を無くすことは不可能である。その中でいかに規制し、少なくしていくかが課題である。業界に要望しても生活権の問題もあり自制することは考えられない。つまり取締りにより見せしめを作ることである。

（香川県・60代・男性）

規制するだけでは限界がある。地域や社会の一員として参加する活動を考えるべきだと思う。祭やボランティア活動などに若者を積極的に参加させる体制づくりが必要と思う。

(熊本県・60代・男性)

タバコは未成年者には入手出来ない社会であるが現実には喫煙の事実がある。未成年者、保護者、販売業者への罰則も考慮した対策が必要であると思われる。

(埼玉県・60代・男性)

近年、携帯電話でのトラブルが目につきます。携帯電話機の販売店に（未成年が使用する場合には“フィルタリング”が不可欠である事）を販売店がお客に説明する事を義務付けて欲しいです。また悪質なサイトを厳しく取締まっていたきたい。

(岡山県・50代・女性)

なぜ有害なのか大人達がしっかりと説明をしなければいけないと思う。PCなどで情報はすぐ身近に有り、すべてを遮断することは出来ない。本人達がしっかりと意識や、態度が取れるよう大人が教えていかなければと思います。

(東京都・40代・女性)

携帯電話のワンクリック詐欺に引っかかりそうになった子どもを助けたことがあります。たまたま私に相談してくれたから良かったのですが、こういう事例を学校でもっと真剣に教えて欲しい。かつて携帯を持たせない運動があったが、使い方を教えるほうが重要と考えます。痴漢が出る場所があるが、なぜそこに出るのかを調査して原因を取り除かなくてはいけない。パトロールも重要だが、環境整備はもっと重要で基本だと思います。

(神奈川県・50代・男性)

青少年を取り巻く環境のなかで、テレビなどのマスメディアの影響が大と考えます。成人式での暴走をニュースで取り上げることはまた、同じことを次の若者がカッコ良いとまねるように思う。これらの悪いニュースは取り上げないようにすべき。もっと取り上げるべく石垣島の成人式のような良いニュースがある。自殺でもマスコミが取り上げるから真似をする青年が増える。環境浄化で関係業界に理解を求めることも必要だが、面白可笑しく取り上げるマスコミが悪い。

(三重県・60代・男性)

有害情報は街に氾濫している。青少年の目に触れさせないよう取締り活動も重要であるが、業界への自主規制の働きかけや青少年自らも有害な情報を目にしても自分を見失わない青少年を育てていくことが責務であると考えます。そのためには地道ではあるが青少年の健全育成活動を継続していくことが肝要であると思う。

(長崎県・50代・男性)

資本主義である限り、青少年にいくら有害だと分かっているでも売れる商品であれば世間に出回る事は防止できない。であれば、有害なものに巻き込まれない子どもに教育することが必要だと思う。道徳教育（一律に進めるには、困難な問題もあるが）の推進が必須であると思う。子どもだけでなく、有害環境を作り出している大人に対しても啓発する必要があると思う。特に、規範意識の低下、自尊感情の低下、人間関係力の低下の改善が必要。悪いとわかっているでも儲かるから、やりたいから…等の身勝手な理由で行動する大人が、有害環境を作り出している。自尊感情が低く、人間関係力が低いため、他人を信じられずにお金だけを頼りにしている場合、お金を得る為には、手段を選ばないなど悪循環となる。なので、大人対象と子ども対象の道徳教育が家でも家庭でも地域でも活発になることを希望する。

(三重県・40代・男性)

青少年も被害者だけでなく簡単に加害者になってしまう現況。それを恐れ、携帯電話を青少年に持たせないとする法律や条例施行の流れは、情報化社会の良い面や発展性をも享受できず、時代にそぐわない。泥の中から蓮の花は咲くのであり、成果を得るには、その負と思えるものの価値をしっかりと見据える社会構造が必要だと思う。自身、負の面があればこそ大事にしなければいけない普遍的な価値観にも気付く。過去、有害と言われた環境にも変遷があったように、今の状況も良かれ悪しかれ変化があるのは間違いない。だが、青少年であるうちに、ある程度その負の価値について触れる経験をしておくことは必要ではないだろうか。私たち大人の役割は、そんなある程度の負の側面をも、しっかり許容できるフトコロの大きさを、なんとか社会全体で維持し続けていくことだと思う。事実として、法令順守は勿論大事だ。しかし、一つの真実として、社会を変える原動力が叛徒達から出てくることを忘れてはならない。

(福井県・30代・男性)

してはいけないあたり前のことをまずは大人がしない事、たとえばタバコのポイ捨て。車の窓からゴミを投げたり。子どもの内は、それがダメな行いとわかっているでも、その様子は日常のものとして覚えてしまい、いずれその容易さから自らもその様な行いをし始めてしまう。マナーと呼ばれるような身近な事から正しい姿があたり前になるように大人みんなが意識していかなければと思います。

(奈良県・30代・女性)

子ども達の有害環境対策はこれをやればすぐ良くなるという特効薬（西洋医学）より漢方薬的に考えた方が良いと思います。環境を整える事はもちろんですが子ども達の対応能力を高める事も大切です。一筋縄ではありませんがみんなで協力して宝物である子どもを育てていけたらと思います。

(埼玉県・50代・女性)

こどもは国の宝だと云いながら青少年育成に関する予算（自治体）は減少していく。私達の関係している活動拠点のセンターも事務方は非常に困っています。

（三重県・70歳以上・男性）

21世紀に入り既に10年が経過しようとしている。19世紀にドイツの哲学者が示唆した「人間疎外」の現象に一層拍車がかかっているように思われる。インターネットや携帯電話でのメールの交換が、人間同士の意志伝達の中心となっているのに危機感を抱くのは私一人であろうか。

（北海道・60代・男性）

有害環境対策の決め手は行政としての姿勢が確立されることがなければならないと考える。その上でモデル事業の推進の協働が生まれるのではないか。小売店の良識を期待することはできない。市民運動の限界を取り除く「力」があって効果が望める。

（青森県・70歳以上・男性）

昨今、深夜営業の大型店舗が増えており、青少年の溜まり場となっている。万引きや暴走族など出没してトラブルも絶えない。営業時間や店内の商品の陳列の方法など規制できる法律を定めて欲しい。

（福岡県・50代・男性）

青少年の有害環境対策としては、携帯電話やパソコンからの有害情報をカットするフィルタリングの強制である。現在、携帯電話を子ども達に持たせる場合、フィルタリングは親の判断で行われているが、強制的にフィルタリングを行って良いと思う。最近の新聞等では、中学生や高校生がプロフや出会い系サイト等を利用して、事件に巻き込まれているケースが多い。また、学校裏サイトで誹謗中傷されいじめにあうケースも多い。このような事件があとを絶たないのは、子ども達が携帯電話がプロフや出会い系サイト等を利用してあるからではないか（多分、親がプロフや出会い系サイト等の実態や怖さを認識していないからではないか）。このようなことから、子ども達に携帯電話を持たせる場合には、フィルタリングを強制する法律を作って早期対策に取り組んで欲しい。

（群馬県・30代・男性）

いくら補導しても、今後益々陰性化し非行は増大するのではと思います。そこには基礎的なモラルがないため、現代の親たちが子どもを躾られない放任主義が村も町も国も規範意識の低下を招いていると思います。もっと国策として、土曜日などを生かし親子で体験学習を進め、皆で感動を味わうことで近親の連体感が生れ、非行が減少し命の尊厳が生れて来ると思います。また現在の子どもたちが背負っている沢山の弊害をクローズアップして、機会あるごとに1つずつ取り除くことが、これからの日本に何よりも大切なことだと思います。

（大分県・70歳以上・男性）

有害情報対策事業の一つとして「講演会」や「地域リーダー啓発講座」が開催されているが、平日の昼間に行われるため、生活におわれている保護者の参加は無理である。PTAへの啓発ならば夜間か休日に関催することが大切である（関係機関が自分たちの勤務時間内で対応していきたいのは理解できるがこの程度の意識ではダメだと思う）。

（愛媛県・60代・女性）

テレビにて、暴飲暴食を撮る事は、食育に対してあまりにも非道です。物を大切に。作物を作ってくれた人に対して感謝を残さず、腹八分です。それに食べ方がきたない。やめて欲しい放映です。

（愛媛県・50代・女性）

テレビ、雑誌、インターネット等の有害なものについて、国としての強い指導、規制が急務です。本当に、次世代の国を担う青少年を守るためには規制の強化が必要です。日本は他国に比べて、甘さがあると思います。

（愛知県・70歳以上・男性）

特に、不良行為少年の警察の補導状況では、深夜徘徊と喫煙が増加傾向にある。地域住民が、「自分たちでできるものは自分たちで」という非行防止や健全育成にける意欲と、行動を強く望みたい。見て見ぬ振りがあまりにも多い。

（鹿児島県・70歳以上・男性）

取締るのではなく、見守る姿勢が大切だと感じます。まず寄り添ってから思いや意見を聞き、そこから悟していけば素直に聞き入れてもらえるのではと思います。青少年はこちらの想像以上に大人の姿勢を見えています。大人はそれに気付くべきだと思います。

（大阪府・20代・女性）

私は補導活動を25年間させて貰っていますが、その当時から今に至まで、シンナー遊びの少年は、いっこうに減りません。シンナー遊びを始めた少年が、次の子どもへ、次の子どもへ、と伝えて行きます。それが私たちの一番の悩みです。

（愛媛県・60代・男性）

インターネット上の子どもポルノや買春被害が拡大、深刻化している事に米国、諸外国からも厳しい声が上がっており、子どもの為に改正を急いで頂きたい、又、他の件についても法改正、施行されてもその後の経過について実態調査をする事が大切で、実際にすべての面で行う事の困難さは理解出来るが行政、地方自治体、民間、地域とのネットワーク作りの立ち上りが遅いように思う。先進国のうちで未だ、人働に対する意識、モラルが低いのが残念。

（大阪府・70歳以上・女性）

青少年にスポーツや体験活動を通じて冒険心や挑戦する勇気のある正しい道を進んで欲しいと望んでいます。

(新潟県・60代・男性)

“大人が変われば子どもも変る”という運動を展開しておりますが、すでに大人には変に変わっている者が多いので“大人正しければ”と変更し、親のモラルの悪いのは法律で罰するようにしなければ日本は良くなるどころか、四流にも五流にもなりかねない。いいたい放題、したい放題で、礼儀も秩序も尊敬もなくなっているなのでこの三つが常識になるような教育、社会を造成すべきである。

(大分県・70歳以上・男性)

コンビニの雑誌売場の半分くらいが有害ではないの？ と思うような雑誌、マンガが並べられています。今、コンビニは小さな子ども達も日常的に行く場所になっているので少し展示方法を高い場所にする等考えて欲しいと思います。

(鳥取県・50代・女性)

テレビで「絶対まねをしないで下さい」という番組を時々見かけますが、それは逆効果で、そのことに対し興味を持ってしまいそうな気がします。

(京都府・40代・男性)

たばこの自販機については、未成年者が購入できないように現在はタスポが必要になっているが、酒については、時間の制限はあるものの誰でも（未成年者）簡単に購入が出来ます。たばこの購入同様タスポみたいなことが出来ないか、要望したい。

(福岡県・70歳以上・男性)

社会環境と同時に家庭内における環境対策が最も大切であり親の姿勢が健全な子育てができ、親自身が健やかな生活をしているか、その気づきがなければいつまでも有害環境対策は難しいと思います。子育ての基本は家庭にあるという意識づけが不可欠であるので二世、三世の家庭より核家族の意識づけを充実して頂きたいと思います。常日頃から会話のある家庭生活を推進し、良き方向へと願います。

(福岡県・50代・女性)

青少年の問題行動が増加しているので、地域住民が共通理解をもつことが大切で誰でも分かる青少年の有害環境をなくすために協力できることを明確にする（例：有害広告、チラシの除去、ゲームセンター、カラオケ、ビデオ店への提言の徹底など）。青少年リーダー、保護者が積極的に活動できるように小さなグループをつくり、ネットワークでつながって大きな輪になれるようにと願っている。

(愛媛県・70歳以上・女性)

地域で活動している私達に行政側から具体的な指示が欲しい（逆に地域に対する要望等を聞きたい）。地域にはいろいろなボランティアで動いている人達があります。自分だけで動くのは大変な時もあるので行政側から地域でこういうことで動いてくれないか等あると助かるような気がします。

（岩手県・50代・女性）

ホームセンター、スーパー等大型店舗における万引犯罪の多さは、店員、警備員の少人数が原因で、防犯カメラでは効果が少ないので、人員を増やす事。

（三重県・60代・男性）

何が問題であるかを把握するためには、大人同士の研修や情報交換も必要である。大人の経験した事もない事から、問題が発生する事も多々あると思う。

（東京都・50代・女性）

青少年への影響が大きい有害環境を一掃することは大人の責任であると考えます。目に見える環境はもちろんのこと近年は、大人が遅れをとっていると言われる。携帯電話、インターネット等の目に見えない、外からわかりにくい有害環境への対策を望みます。併せて、子ども達の心を理解し、手を添えて補助してやれるように専門的立場の方（カウンセラー等）の教育現場への導入をより多く、1日も早く実現して子ども達が伸び伸び育ち、安心して社会へ羽ばたけるよう心から望みます。

（長野県・60代・男性）

戦後の自由主義のはきちがえで育った親が子どもを育てている為、自己中心で遵法精神の欠除した若者が多過ぎる。親が子を殺し、子が親を殺す。日常的になってしまい、不安な昨今である。道徳教育や愛国心教育は絶対に必要であり、カスミアミで小鳥をとると罰則があるが、製造・販売は罰せられず、大麻を所持・使用するのは犯罪であるが、種子の売買は犯罪にならない抜け道だらけ。30年以上健全育成ボランティアにかかわって来て、家庭教育の大切さ教育力の低下が痛切に感じられ、自分の孫の時代が不安である。

（石川県・70歳以上・男性）

青少年の非行問題の原因は、家庭にあると思われる。家庭生活の乱れが幼少期からの生活習慣や社会規範の育成を阻害している。女性の社会進出は良いが、少子高齢化の中で、孤食や欠食が増え、家族団欒の時間がなくなり両親とのコミュニケーション不足が心の教育を阻害している。

（福岡県・70歳以上・男性）

ニュース、ワイドショーなどでの犯罪の手口まで教えるような報道の仕方に行き過ぎを感じる。また漫画や映画等も同様、描写がひどすぎるものが多い。

（広島県・50代・女性）

「インターネットカフェ」などの小・中学生の出入りに関する条例があればよい。「ゲームセンター」の青少年育成条例のように細かく、出入禁止の時間帯を設定して欲しい。

(香川県・30代・女性)

夜間徘徊、溜まり場等の取締り等、行なわれていますが、私達が参加するのは時間的に難しい面もあります。警察と言えば青少年に効き目あり。その為には警察関係者の増員をお願いしたい。又、子ども達への講演、講習等何回も繰返す必要を感じます。

(熊本県・60代・女性)

国も家庭も経済的に大変な今こそ、行政、関係機関と地域のボランティア団体が協力し出来るだけ少ない経費で子ども達に有効な対策を打ち出して行くしか方法はない。みんなで日本の又世界の子どもたちの為に汗をかくことが大切だと思う。

(鳥取県・60代・男性)

以前よりも成人向雑誌などにはカバーを付けたり、分けて並べたりするようになったが、もう少し厳しくしても良いと思う。表現の自由という考えもあるだろうが、出版社が自から決まりを作るべきだと思う。

(東京都・50代・女性)

小学生までドラッグが広がって来ている。これらの要因の一つとしてケータイ電話が大きく関わってきていることは間違いない。NHK金曜特番で中学生対象にケータイ電話について討論されていた。参加されていた親ごさんが電話代に10～20万円を使っていると話されていた。参加していた中学生は3～4万円が多くいた。便利なものほど事故や問題が起るものである。青少年育成から環境問題を考えると中学生まではケータイを禁止させるべきでないかと思う。大阪市だったかと思いますが中学生までケータイを禁止されるかテレビだったか新聞だったかは覚えていませんが大変に素晴らしいことで国を上げて取り組むべきであると思います。

(岐阜県・70歳以上・男性)

スポーツや音楽等の活動を促進し興味をもたすこと。学校教育、社会教育で何が大切かを大人と一緒に学習すること。青少年への規制ではなく、それを取りまく社会からの大量の情報を規制すべきで大人が青少年の環境を悪くしていると思われる。

(北海道・60代・男性)

親の子ども養育の欠落、家で人として自立に必要な基礎的なしつけ教育が親の責任として果されていない。ネグレクト過保護などの家庭が増えている。親業の教育を学校教育の中に位置づけてはどうか。またテレビ等で啓蒙してはどうであろうか。

(鹿児島県・70歳以上・男性)

携帯電話は今や有害玩具といえる。便利であるが反面さまざまなサイトにアクセスでき未成年者の被害が後をたたない。保護者の無知、無関心から子どもたちを守るのは規制しかないと思う。未成年者が単独でネットに繋げる必要性は皆無であり、成人認識カードを持っていなければネットに繋がらないような機能にして欲しい。タバコの t a s p o カードより効果があると思う。ゲームソフトの規制も望む。日常的に残酷なゲームをやり、これがエスカレートして悲惨な事件が起こっている。ゲームもビデオやDVDのように年齢制限をして欲しい。

(滋賀県・50代・男性)

昨今のテレビ番組はバラエティものも多く深夜に及ぶ。出演者の自己満足で無分別な言動や振舞いのものも多く、中には少年の心に刺激ある番組が多い。もっと映像倫理審査の強化が必要です。

(富山県・70歳以上・男性)

取組に自分が直接かかわっていなければ、無関心な地域住民が多いように思います。モデル地区の事業を推進することにより、関心を持つ住民も増えるのではないかと思います。特に携帯電話については大人より少年の方が詳しく、ついていけない親が多い。また、定番であるが携帯電話は個人の物という考え方で、子どもに預けてしまい子どもの情報が全く無い親も多い。

(岩手県・50代・女性)

中学生に対して正しい理解と健全な成長につながるべき人生のあり方について話し合う機会を多くつくる。学校教育の教科の中でも学習させるべきである。

(宮城県・60代・男性)

多くのことを学校に求めすぎている傾向にあることは、大変問題である(ケータイ指導が特に)。保護者がやるべきことは保護者が、行政がやるべきことは行政が、しっかりやるべきである。

(千葉県・40代・男性)

数多くの青少年に関する団体がそれぞれの形で啓発、街頭補導研修会等で頑張っていると思いますが、特に問題のある子の親が無感心であるということが、どうにもならない悩みです。親の子育てに対する認識不足が大きな問題だと思います。

(栃木県・60代・女性)

保護者への呼びかけが大切。もっと学校側が協力してくれれば保護者に向けての指導ができるのだが、学校側が閉鎖的である。

(三重県・40代・女性)

清浄無垢な社会を求める事は難しいが、汚れの少ない社会であって欲しい。現代社会は子ども達の興味、関心を誘う機会や情報が多過ぎる。本当に親や大人がしっかりとした子育ての考えを持って対応出来なければならないが、忙し過ぎるし余裕もない。子どもとの身体の触れ合い、心の触れ合いが少ないし、子どもとの関わりが多く持てるよう、密度の濃いものになれるような大人社会や地域社会になって欲しい。子どもの問題等は数10年、健全育成関係団体の諸集会で取り上げられ話題にされるが、中味は毎回毎年同じ。ちっとも変わっていない。大人社会や地域社会が革命的な変わり方をしなければならないような気がして、最後は政治の問題でもあるような気がする。国（政府）の関わり、リーダーシップを現政権に期待する。

（青森県・60代・男性）

携帯電話やパソコンのeメールやiモードでいくらでも有害情報が入ってきます。迷惑メールもブロックをかわしたり、あの手この手で入ってくるので青少年が自分から呼び込まないよう学校などで大変なことになった事例などを紹介して、ひっかからないようにするのと、購買時にフィルタリングをするなり防衛策を構じられるよう販売店にも協力してもらおうようにして欲しい。とにかく一番は青少年自身がいい情報といけない情報を区別し選別出来るような知識を見につけて欲しい。

（島根県・50代・男性）

コンビニ等での有害図書の販売、陳列に関して青少年への悪影響などについて説明し、改善を求めるものの、本部からの指示がなければ変更ができないと返答され、こちらの要望を聞き入れてもらうことができない。

（新潟県・60代・男性）

「心」と「物」のバランスが物に傾き、心や存在が軽く扱われる社会になってしまったと感じます。青少年の心の叫びに大人がもっと耳を傾けること、又、大人が余裕をもって耳を傾けられる社会を作ることが重要だと感じます。

（福島県・50代・男性）

地域のネットワークの強化が必要。より良い青少年の育成環境をつくる為には、豊かな心をもつ大人がネットワークを活性化させること、大人と共に青少年も育つ。行政はその大人の組織、リーダーを支えて援助する方策と金を出して欲しい。

（熊本県・50代・男性）

今コンビニ等での万引きが多発しています。少々の事では届けを出さない、と言っていました。それが多発の原因になっている状態だと思います。家庭教育、学校教育大事な事だと思います。

（茨城県・70歳以上・女性）

引きこもりや不登校問題を世の中がまずいと否定する考えが、当事者や親を益々追い込み、長びかせる結果となっている事にほとんど誰も気付かない。各支援団体を当人や親が渡り歩き、やっと私の所で安心する。そして1週間か10日位で元気になり世の中に飛び立っている。学校へは行かなくてはならないが引きこもらざるを得ないという心の叫びに耳を貸して下さい。そうせざるを得ないのです。だからその辛い心を受け止めるだけでいいのです。否定しないで下さい。各支援団体のほとんどが否定する所からしか発していない。あなたはまずいんだよ、引きこもっていることは良くないと言われ、益々苦しくなっているのです。誰だって元気に社会に出たいのです。苦しくて辛くて出られない心を全部吸い取ってやる事です。

(茨城県・60代・女性)

国民（住民）意識の啓発。少年達の行為を見て見ぬふりをしないこと。地域住民みんなが地域の子ども達を育てている気構えを持って欲しい。「子どもに注意など出来ない」この様な大人が多すぎるのが残念！少年警察ボランティアなどにもう少し国なり自治体が光を当てて欲しい！後輩後進者のためにも。

(石川県・70歳以上・男性)

法律の建前におされ取締りが臨機応変に出来ていない事より、結果として現状の青少年を取り巻く環境を悪化させている。本当の真剣に子どもの成長・教育・命を考えれば建前は無視出来るはず。きれい事では、現実を改める事は出来ません。活動が大人社会の優越感事業であってはならないです。大人社会に問題あり。青少年活動をしている側の意識にも問題があります。

(千葉県・50代・女性)

都市部と山間部では対策が異なる。山間部ほどメディアの影響力が大きく青少年自身の歯止めが効かないようだ。特に中・高校生への有効な対策を模索したい。

(岡山県・60代・女性)

年令が上がる程、学力の差が出てきて学校に来なくなり溜まり場をすぐつくります。当市は夏休み、冬休み、春休みを利用し、教職退職者によるおさらい教室を開催しています。年令もしくは学年を取り除いた教え方をします。子どものプライドを傷つけない様にプログラムをつくりながら。

(茨城県・50代・女性)

小中学生の保護者の方にもっと今の子ども達が狙われ危険なのだという事を知って欲しいし、無感心な気持では困る保護者がたくさんいるのではと思います。自分の子は親が守るという責任感と愛情をもって子育てをして欲しいと考えます。

(愛知県・60代・女性)

罰則を強化することと合わせ、青少年の健全育成に取り組んでいる人や団体、頑張っている青年をメディアに積極的に登場させる。根情や友情、優しさ等をテーマとしたTV・DVD・本等を流行らせる取組（全国・県・市町村の各地で）。

（長崎県・40代・男性）

子どもへの指導も大切だが指導者や大人の姿勢が大切である。予防＝教育、更生・修正＝警察、この区別と融合が課題。

（高知県・60代・男性）

家庭によって価値観が異なり常識が通用しない間違っただけの理屈を言われる方が増えていきます。正しいことを正しいと、誤りを誤りと言える共通理解していることが子どもにとって大切な教育であり大人の姿勢が有害環境対策ではないかと思えます。

（静岡県・40代・女性）

行政・関係機関・地域社会迄もが、縦行政に組織されておりそれぞれに青少年に対するボランティアを有しているが、横の連携がない。

（滋賀県・60代・男性）

民放の低俗化。それを良しとするスポンサー。企業倫理感はどこにいったのか。物質第一主義である限り、この悩みはなくならないと思う。次の世代の何を残すのか真剣になって取組もうではないか。

（長野県・70歳以上・男性）

有害環境の多くは大人社会が作り出したもの。大人のモラルが問われていると思う。それでも青少年が有害環境に負けず育つためには健全な家庭の養育と社会性を学ぶ義務教育期間迄の教育とこれらを支える応援団として豊かな地域が必要だと思う。その中で青少年の自立、自律は培われると思うのです。

（神奈川県・60代・女性）

子どもの電子メディア問題は、学校、家庭、地域が連携して取組む必要がある。情報モラル教育の推進について、インターネットを使った教育の普及、情報モラル講座、教育、子どものインターネット利用に関して、規制するだけでは根本的な解決にはならず、子ども自身が判断する力を養うことが必要と思われまます。

（島根県・70歳以上・男性）

犯罪を犯した被告人などに対する人権は守られ、被害者の人権が守れない現状を非常に理解しがたい。刑を重くすれば犯罪が減るわけではないが今の裁判、司法のあり方も問題だと思う。又、マスコミの報道も画一的でマスコミの対応にも疑問をもつことが多い。

（福岡県・50代・女性）

経済優先となっているケータイ業界がCSRとしてケータイを使った青少年の問題行動を防止する対策をするべきである。と同時に国がしっかりと規制する法律を整備することが急務である。これだけ問題が表面化していながら、保護者の意識や自己責任の問題にしているのは明らかに行政の怠慢と言わざるを得ない。

(山口県・40代・男性)

夜間青色回転灯によるパトカーでの巡視は抑止効果が有ると思います。しかし細い路地、行き止りの道など車が通りにくい人通りの少ない道のほうが巡視が必要ではないでしょうか。地域のボランティアは自転車、歩行等で巡視を行ったほうが地域活動効果が高まるのでは。

(静岡県・60代・女性)

テレビの恐さをいつも思います。若手芸人が痛めつけられ、より人気のある芸人がそれをみて笑っている場面がとても気になります。子どもは何がおきても無神経でいられることを日々訓練している様な気がします。

(静岡県・50代・女性)

テレビ放送、雑誌販売では数年前より改善が感じられる。インターネット（携帯電話）の広がりにより、親も、教師も住民も目に見えない（無感心も原因だが）所での有害があり、何が起きるか起きているのか想像がつかず、予防のてだても見あたらない。きっかけ（入口）となるツールであり、その幅は（犯罪に限らず）無限にあり、さらに深いため、見つけた時には手遅れの感さえある。

(高知県・40代・女性)

有害環境に対して、特にインターネット上に関する事柄は止められない状況、インターネットは便利ではあるが、有害環境を抑えるには、思い切った規制が必要と思います。物事が便利になった分、心の貧しさも同じように増えてしまって残念。

(愛知県・50代・男性)

実態の把握も大切かも知れませんが、何といてもまず行政は具体的な諸問題に行動を起こすことです。特に青少年問題を担当している教育委員会が形骸化しているだけに組織の見直しが必要だと思います。

(長野県・60代・男性)

平成 21 年度

青少年有害環境モニター調査

～ 青少年の健全な育成のために ～

内閣府（政策統括官（共生社会政策担当）付青少年環境整備担当）

〒100-8970

東京都千代田区霞ヶ関三丁目 1 番 1 号

TEL 03-5253-2111 FAX 03-3581-0992